

令和5年度第46回卒業式

卒業生の前途に幸あれ!



令和6年3月26日

3月号

発行: 宮古北高等学校

3月1日(金) 6名のご来賓のご臨席を賜り、令和5年度第46回卒業式が挙行されました。当日は、卒業生とのお別れを惜しむかのような名残雪が降っていました。

卒業生一人ひとりが担任から呼名され、校長先生から卒業証書を授与されました。校長式辞では「卒業生の皆さんは、自分では気付いてないかもしれませんが、高校時代素晴らしい経験を積んでくれました。学び続ける姿勢を常に持ち、卒業後も素晴らしい体験・経験をしてください。」とお祝いの言葉とエールが贈られました。答辞は前生徒会長の山根 つきのさんが務め、在校生へのエールと友人たちへの感謝の言葉を述べました。『1回の人生で出会える人の数は決まっている』という言葉があります。これが本当なら、この学校に入学して本当に良かったと思います。本当に会ってくれてありがとう。」と涙ながらに話し、聴いている人の心を打つ素晴らしい答辞でした。送辞は現生徒会副会長の佐々木 陽楠葵さんが務め、『「当たり前の日々」を取り戻しつつある一方、私たちが経験したことのない学校行事をもう一度作っていかねばならない状況下で、先輩方はいつも明るく過ごされていました。』と卒業生への労いと感謝の言葉を贈り、これも素晴らしい送辞でした。

12名の卒業生は進学する就職する人、宮古管内に残る人県外に出る人とそれぞれ違った道を進みます。進んだ道でつまづくことや苦しいこともあると思います。その時は、母校である宮古北高校で過ごした3年間を思い出し、立ち上がり前に進んで行ってください。卒業生の皆さんの今後のご活躍を心より応援しています。



表彰式・終業式・離任式・校長離任式

三月二十一日(木)表彰式・終業式・離任式・校長離任式が行われました。表彰式では一カ年皆勤の一学年鈴木 駿さん、関川 暖人さん、二学年瀬浪 真優さんが呼名され、代表して瀬浪さんに賞状と記念品が贈られました。また、一カ年精勤の二学年小成 彦禮さん、野辺地 翔大さんが呼名され、代表して小成さんに賞状と記念品が贈られました。表彰された五名の皆さん、おめでとうございます。終業式での校長講話では、年度当初に触れた「逃げずに学べ」「ボランティアや地域活動への積極参加」についての総括がありました。

離任式では、宮古北高校の発展にご尽力いただき、この度の定期人事異動にてご栄転される三名の先生方のご紹介がありました。昆野 健一先生は岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課へ、小原 俊介先生は新採用で盛岡工業高校へ、佐藤 駆先生は釜石高校定時制へ、それぞれ異動になります。大変お世話になりました。最後の校長離任式では、同じく定期人事異動にて一関第二高校へご栄転される佐藤 慎信校長先生のご紹介がありました。生徒の皆さんの成長を一番に考え、リーダーシップを発揮し教職員の先頭に立ち、宮古北高校のボランティア活動の活性化等にご尽力いただきました。校長先生を始め四名の先生方の新天地での益々のご活躍をお祈りいたします。



毛ガニ祭りボランティア

三月三日(日)、宮古市魚市場特設会場にて行われた第二十二回宮古毛ガニ祭りに十四名(二学年七名、二学年七名)の北高生がボランティアスタッフとして参加しました。様々なイベントがあり、当日は大盛況だったようです。



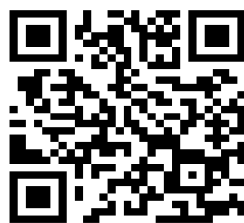
お知らせ

学校ウェブページ、ノートへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

学校ウェブページ



ノートのページ



宮古北高校では、体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。

学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。生徒のボランティア活動を充実させ、地域に貢献して参りますので、ご支援ご協力をお願い致します。

令和六年三月二十六日
文責 宮古北高校副校長